

氏名	廣松 勲（ひろまつ いさお）准教授
こんな研究をしています	①フランコフォニー文学研究（カリブ海域諸島とカナダ・ケベック州） ②地域研究（同上）
こんな成果を挙げています	①評論：「『たかが世界の終わり』における映像技法：ケベック映画としての／からの出立」『ユリイカ』特集「グザヴィエ・ドラン」, 2020年4月号, 青土社, 2020年, 頁数未定. ②共訳：ピエール・ヌヴェー, 「ケベックと北米大陸のフランコフォニー（ニューイングランド、アカディア、フランス語圏オンタリオ）」（廣松勲・小松祐子共訳）, 『ケベック研究』第10号, 日本ケベック学会, 2018年, 93-108頁. ③評論：「第5章 エドゥアール・グリッサン（1928-2011）：〈関係〉の詩学から全-世界へ」, 『国際社会人叢書2：〈境界〉を生きる思想家たち』, 榎木玲子／法政大学国際文化学部編, 法政大学出版局, 2016年, 105-129頁. ④論文：「現代ケベック文学の諸潮流：移民文学と新郷土文学を中心に」, 『Nord-Est』第7・8号合併号, 日本フランス語フランス文学会東北支部会, 2015年, 84-105頁. ⑤編集・翻訳・エッセイ・書評：日本フランス語圏文学研究会会報『Archipels francophones : bulletin du Cercle d'études japonais des lettres francophones』第5号の編集／巻頭エッセイおよびインタビューの翻訳／エッセイ・書評の執筆, 2015年8月4日. *その他：学術発表、書評、講演会司会・通訳・報告書作成、対談、コミュニティ誌記事など
ほかに、こんなジャンルに関心をもっています	①ホラー映画, ドキュメンタリー映画（特にフェイク・ドキュメンタリー）における物語・語りの構造 ②実話系怪談小説における物語・語りの構造
こんな授業を行なっています	①2020年度春学期：「国際文化研究A」（田島樹里奈先生と共に管理運営） ②2020年度秋学期：「多言語芸術論II」（フランコフォニー文学入門） （*2021年度はサバティカル休暇のため授業を担当しません。）
学会や社会でこんな活動をしています	【受賞歴】①日本学術振興会特別研究員PD（2012年～2014年）／②エミール・オリヴィエ奨学金（2011年, モントリオール大学）／③学会奨励賞（2011年, フランス語フランス文学会） 【所属学会・役職】①日本フランス語教育学会：初中等教育委員／②日本ケベック学会：副会長（2018年～）, 編集委員長（2016年～）／③日本フランス語フランス文学会／④日本フランス語圏文学研究会／⑤国際フランス語圏研究会議（CIEF） 【その他の活動など】①集中講義（2018年, 東北大学）／②「第10回 フランコフォニーを発見しよう」管理運営（2018年, 法政大学）／③「北米文化論（ケベック講座）」の開講・管理運営（2018年度～）／④「東日本および西日本高校生フランス語暗唱コンクール」の課題テキスト選定（2013年度～）
私が思う多文化的かつ、インターカルチュラルな人物	パトリック・シャモワゾー： この名前を聞いたことがあるでしょうか？恐らくほとんどの人にとっては未知の響きを持つ名前でしょう。フランス共和国の海外県・地域圏であるマルティニク島出身のシャモワゾーは、自分自身の出身文化・言語・社会を小説において徹底的に描き切ることで、単一文化から複数文化へと突き抜けた知識人であるといえます。一般に、マルチ／インター／トランス・カルチュラルリズムというと、複数の言語・文化圏を横断しなくてはならないと思いがちですが、言語や文化の無限の多様性・複数は特定の地域においてその微細な部分から極大な部分に至るまで観察できるものです。外に視線を開くと同時に、内への視線を忘れずに、とりわけ内なる他者の気配をも感じ取れるように、本研究科の学習・研究を通じて学んでほしいものです。